

— 2019年度 —

成蹊学園事業報告書



学校法人 成蹊学園

2019 年度成蹊学園事業報告書

目次

2019 年度事業報告書発行に際して	1
--------------------------	---

I. 法人の概要

1. 建学の精神	2
2. 学園の沿革	3
3. 設置校	4
4. 在学生	5
5. 組織図	8
6. 役員等	9
7. 教職員	12

II. 事業の概要

第 2 次中期計画について	13
1. 大学	14
2. 中学・高等学校	22
3. 小学校	28
4. 法人	31

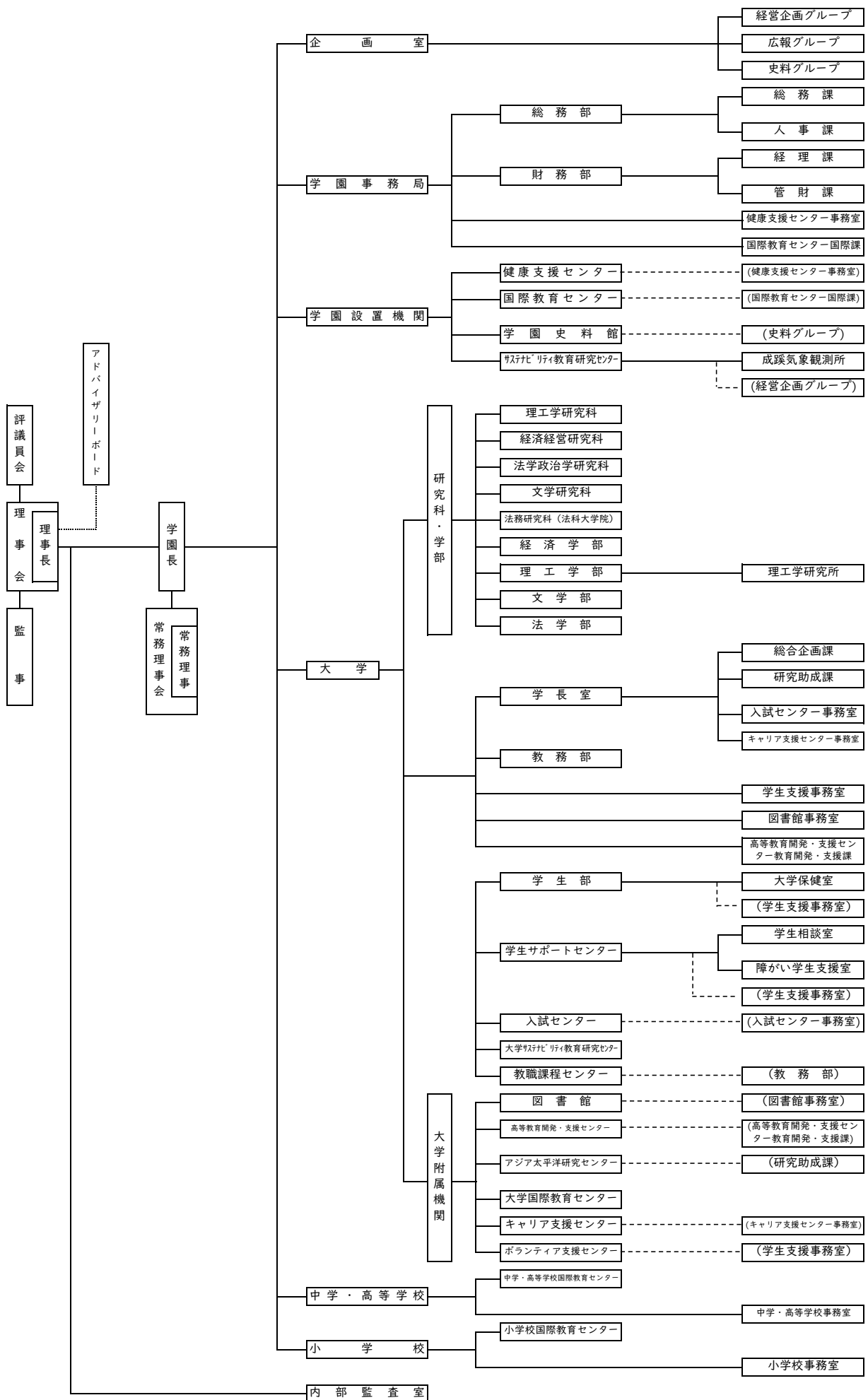
III 財務の概要

1. 学校法人会計について	35
2. 2019 年度決算の概要	36
3. 5 ヶ年の財務状況推移	41
4. 主な財務比率等の推移	46
5. その他	48
6. 財産目録	49

監査報告書

5. 組織図

(2020年3月31日現在)



(4) 人的パワー、組織力の強化

① 教職員の人事制度の見直し

教員の働き方について、健康管理の視点から労働環境を更に充実させるために医師面談の仕組みを整えました。また、2021年度からの制度運用を念頭に置き、各校のカリキュラムや授業を円滑に運用しながら教員の勤務環境を整備する方策を検討しました。

また、事務職員については、まずは組織運営の中核となる役職者の任用方法について、現状の課題や問題点を明らかにしたうえで必要な規則整備を行い、2020年度より運用することとしました。

(5) サステナビリティ教育研究センターの活動

本学園では、2018年4月に成蹊学園サステナビリティ教育研究センター（ESDセンター）を設置し、小学校から中学・高等学校、大学までの連携によって持続可能な開発のための教育（ESD）を学園全体で進めています。

2019年11月には、学園全体の様々な教育実践がユネスコ憲章に通ずるものとして高く評価され、ユネスコスクールに認定されました。成蹊大学はユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUivNet⁽³¹⁾）に2018年12月より加盟しており、小学校から大学までの学校法人ぐるみでユネスコスクールの活動を推進するというのは世界的にも珍しいケースです。今後も世界のユネスコスクールのネットワーク（Associated Schools Project Network）に参画し、さまざまな主体と連携して、教育・研究に取り組むことで、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に向けて教育機関としての責任を果たしていきます。

⁽³¹⁾ ユネスコスクールのパートナーとして、ユネスコスクールの活動を支援する大学のネットワーク。（出典：ユネスコスクール支援大学間ネットワーク ASPUivNet ホームページ）